公益財団法人 とくしま産業振興機構

とくしまのがんばる企業を応援します

（公財）とくしま産業振興機構 ｜ www.our-think.or.jp

TOKUSHIMA

2026 July No.516

企業情報とくしま

Corporate information Tokushima



▲株式会社ヨコタコーポレーション 代表取締役社長／横田 勝己 氏





徳島の企業

株式会社 ヨコタコーポレーション

「にんげんいきいき」のひとづくり！

お客様の困りごとを解決し、進化し続ける！

Pick Up News

関連記事 P2

1960年に創業し、2025年に設立65周年を迎えた株式会社ヨコタコーポレーション。どの時代も大切にしてきたのは常にお客様の困りごとを解決するということ。ベアリングや自動車部品などの旋削加工で高い技術を誇る同社は、FA（ファクトリー・オートメーション=工場の自動化）の開発設計、リユースストアやショッピングセンターの運営や住宅関連事業など幅広く事業を展開している。2026年3月には四国経済産業局の「第10回ものづくり日本大賞」で「四国産業振興賞」を受賞。これまでの歩みと未来に向けての同社の想いを伺った。



CONTENTS

徳島の企業…… 02
株式会社ヨコタコーポレーション
とくしま起業人 …… 04
◦**徳島椎茸ファーム**
◦**一般社団法人 日本スパイダー協会**
事業紹介…… 06
あったかビジネス認定企業リスト
社会保険労務士から一言 …… 08
フリーランスと事業者の健全な取引を守るために
よろず支援拠点 …… 10
経営力再構築伴走支援から考える自己変革力
～技術的問題と適応課題の視点から～
100億宣言企業 …… 12
ダイトー工業株式会社
事業紹介…… 13
とくしま経済飛躍ファンド活用事例「徳島魚市場株式会社」
賛助会員紹介…… 14
◦**阿波スピンドル株式会社**
◦**ニタコンサルタント株式会社**
AWA-BIZセミナー講座一覧 …… 15
令和8年度 とくしまビジネスアップ塾「AWA－BIZ」セミナー
会館だより …… 16
徳島県中小企業向け融資制度「経済変動対策資金」



株式会社ヨコタコーポレーション

人財力で地域の課題解決へ。いかなる時代も、一歩先の価値を創造し、地域の皆様に存在意義を感じていただける100年企業を目指し日々努力し続けている。


代表取締役社長　横田 勝己 氏

―いつの時代も先を読む―

いつの時代も未来を見据え、事業を展開してきたヨコタコーポレーション。合格祈願の駅として全国に知られる吉野川市川島町の JR 学駅からほど近い場所に位置する。吉野川市や近隣の町は、吉野川の中流域で藍産業も盛んな地域であった。会社のルーツは明治38年（1905年）121年前に遡り、北海道への「藍反物の販売」や徳島に向けての「鯡粕の製造・販売」から始まった。鯡粕は北前船で北海道から運ばれ、阿波藍の収穫量を飛躍的に向上させた伝統的な高級有機質肥料であり当時の地域の発展に大きく貢献した産業であった。戦後、1947年に食糧難を解決したいと同地にてサツマイモを原料とする澱粉製造をはじめた。戦後の食糧難が徐々に解消されていくなかで、社会的な必要性が薄れていった。そのとき先々代社長である横田勝行氏が軸受（じくうけ）大手の光洋精工株式会社（現・株式会社ジェイテクト）の事業拡張に伴い「次はモータリゼーションの時代がやってくる！自動車産業だ」と1960年にベアリング旋削加工をする会社として横田精工株式会社（現在の株式会社ヨコタコーポレーション）を設立した。澱粉製造と自動車関連産業は全くの異業種であるが、「地域の課題を解決する、お客様の困りごとを解決したい」というミッションを達成するための産業であるという共通項があった。

設立当時から、65年以上に渡り主力であり続けるベアリング旋削に加え、各種自動車部品（ミッション他）の加工も手がけている。機械部門では自動車部品の組立機、検査機などの自動化・省力化設備が主力となっている。2018年に設立したタイ子会社では、FA 設備・単能機の製造や新規事業の開拓を行うようになった。

ヨコタの大きな特徴が異業種展開だ。これもすべてが「お客様の困りごとを解決すること」から始まっている。分かりやすい事例はハウジングセンターとリユース業である。1978年に徳島県下初の事業転換法適用で総合百貨店部を発足し、ハウジングセンターヨコタ藍住店をオープンさせた。この時代はモノがあまり流通しておらず、ヨコタが先駆者となり、ディスカウントストアとして家電製品などを販売し、地域のお客様に喜んでいただけるよう提供していた。時は流れ、今では大手流通小売店やインターネット販売など、選択肢も多く非常に競争が激しくなった。モノはいつでも購入できるようになってからは、大切に使っていく風潮に変わっていくという流れを読み、西日本でリユースショップ第一号店となるハードオフ藍住店を1997年6月にオープンさせた。現在では（株）ハードオフコーポレーションに FC 加盟法人として、徳島県内に8店舗、兵庫県に4店舗の運営を行っている。使わなくなったものを買い取り、点検・修理・クリーニングをし、お客様に購入してもらえるリユースは地球に優しく「循環型経済社会」や SDGs に貢献でき、時代のニーズに適合している。





―人と人との繋がりを大切に―

お客様に喜んでもらうだけでなく社員を大切にし、社員と地域の皆様から良い会社ということを実感してもらわなくてはいけないという想いは昔から変わらない。社員は大切な人財だと考え、働いてよかったと思える会社を目指している。

独自の経営理念研修では、ベアリング旋削を始めた際に働いていた OB を講師に招き、変化の歴史を語ってもらう研修を実施した。また、ハウジングセンターヨコタに異業種展開した当時の担当役員は、どういう時代だったから新規事業を始めたのか、苦労はあったが、現在の事業と繋がっているといった話をしてもらい、会社の変化の歴史を社員とともに学ぶ機会を設けている。新事業や新商品を立ち上げるのは大変だが、時代が変わっていく中で、みんなで一丸となってやっていこうという機運を高めるように努力をしている。月1回の部門ごとの会議では、実績や方針を社長から幹部だけでなく、一般社員にも伝える「見える化」を実践している。運営協議会を通じて社員の困りごとを共有し、お客さまや仕入先がこの会社と取り引きしてよかったと思える社風の醸成に努めている。

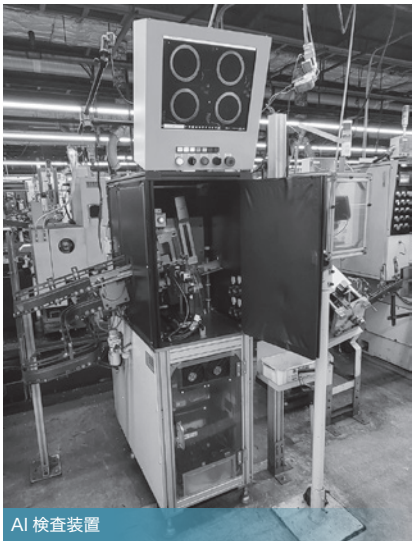
横田社長は大学卒業後、大手銀行に7年間勤務し、法人営業等を経験した。様々

な業種、地域の社長や経営陣と話をする中で、経営に対する考えを聞くことができた。幸運にも、世界トップクラスの自動車部品メーカーが多数集積する日本有数のモノづくりの街、愛知県刈谷市の支店で勤務していた際には海外進出を考えているメーカーの話も聞くことができた。自社のタイ進出にも銀行時代の経験が大いに役立っている。

振り返ると、過去から全ての部門が良いという時期はなかったという。コロナ以前は、製造が底堅く、リユース業は発展途上にあったが、コロナ後は、リユースが堅調となっている。部門ごとに売上げの変動はあっても良い部門が悪い部門を支え結果として雇用を支えている。2026年3月にオープンしたハードオフ・ホビーオフ神戸鈴蘭台店の正社員3名全員の親御さんもヨコタに勤務している。「ヨコタで働きたい！」と思う社風が「にんげんいきいき」の人づくりに繋がっている。

―2026年3月「第10回ものづくり日本大賞」で「四国産業振興賞」を受賞！

徳島県立工業技術センターと共同開発を行った「AIとCGを活用して外観検査の自動化を可能とした環状金属研削面のキズ刻印検査装置の開発」が四国経済産業局の「第10回ものづくり日本大賞」で「四国産業振興賞」を受賞した。ベアリングは軸の回転を受けて支えることから軸受とも呼ばれ、車軸やトランスミッションなど回転するパーツの摩擦を減らす大切な部品である。ガソリン車では100～150個、ハイブリッド・EV車にも50～100個のベアリングが使用されている。


AI検査装置





AI検査装置は4、5年の年月をかけて開発した。ベアリング品の外観検査は金属光沢による研削後とキズの識別の難しさ、形状も多様化していることから自動化が進まず熟練検査員の目視に依存してきたという。例えば表面の傷を検査するときは、浅いキズは研磨工程でなくなるので合格にできるが、深い傷は残ってしまうこともあり、人の目での確認が必須であった。自動化に向けて徳島県立工業技術センターと共同研究を行い、多くのNGの画像と合格レベルの画像をCG技術で生成し、AIを活用し、学習して合否判定ができるようにシステムをつくりあげた。その結果、未検出率0%、虚報率約1%という目視検査と同レベルの高い精度を実現し2023年から実運用を開始している。「加工屋でありながら設備屋でもある弊社だから実現できました。ベアリングの多くは当社でつくった設備で加工しています」と笑顔で話す横田社長。トライアンドエラーを重ねて実現できた。省人化できたから雇用を減らすのではなく、人しかできない付加価値の高い仕事にシフトし『新しい価値の創造』へと繋げている。

―ベアリングはロボット産業にも

自動車産業は安定していた時代から変革期に入っている。今後伸びそうなのがロボット関連産業だという。産業用ロボットや、人の形をしたヒューマノイドロボットがスムーズに動くためには、肩や指といった曲げる部分、人体でいう関節部分にベアリングが必要だという。ロボット向けのベアリングは高い寸法精度と安定した品質が求められる。ロボット業界にもチャレンジしていこうと新たな製造ラインを立ち上げた。足許では、ロボットや産業用設備に関する設備投資が前向きになっている。1年以上前から準備をしてきた製品が、厳しい品質の監査を通り6月から量産を始めている。横田社長は今年の7月18日と19日にアスティとくしまで開催された「ロボットと人間の共生」を発信する国際イベント『HRWC 2026 LIVE WITH ROBOTS』ではHRWC運営副委員長も務めた。これからも社員一丸となり、次の時代を見据えながら事業を進めていく。

（文責：藪田ひとみ）



Company Profile

会 社 名 ▶株式会社ヨコタコーポレーション
所 在 地 ▶〒779-3306
徳島県吉野川市川島町学字辻4-2
代 表 者 ▶代表取締役社長 横田勝己 氏
設　　立 ▶1960年4月14日
資 本 金 ▶7,260万円
事業内容 ▶製造部門でのベアリングレース旋削加工、自動車部品旋削加工。FA設備、自動検査機、油圧単能機、NC旋削機の設計製造販売、流通・住宅部門でのリユースストア運営（FC加盟）、ショッピングセンター運営、住宅関連事業
従業員数 ▶245名（内パート・アルバイト73名）
T E L ▶0883-25-2121
F A X ▶0883-25-4549
U R L ▶https://www.yokota-inc.com/

YOKOTA CORPORATION　HP ▶

Interview

とくしま起業人



徳島椎茸ファーム

代表者 三浦 祐太郎

住所：徳島県板野郡松茂町　Instagram：miura_tenkeiko

令和５年７月開業

●起業の経緯を教えてください

元々、夫婦で東京で働いていましたが、天恵菇を食べてその存在を知り、天恵菇の美味しさに感動してファンになりました。その後、ご縁あって天恵菇の生産者にお話を聞く機会があり、天恵菇は生産者が少なく、栽培にとても技術と労力が必要であることを知りました。そこで「もったいない！」「天恵菇を知ってほしい！」と強く思ったことがきっかけとなり、一年間の修行を経て夫婦で起業にいたりました。



●主な事業内容を教えてください

主な事業はしいたけ、天恵菇の栽培です。天恵菇は春・秋・冬に作られ、夏は「夏華」というしいたけを栽培・販売しています。生の椎茸だけでなく、天恵菇の出汁醤油、コンフィ、乾燥品からペットフードまで企画や販売をしています。夫婦で経営していますので、夫が栽培、妻が営業や広報などの栽培内外のことを担当しています。ですが、どちらかの役割に偏ることなく、フィードバックしながら経営方針について話し合います。そのせいで、たまに意見がぶつかることがあります。

●起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

品質を追求し、いいものだけを作ることはできますが、お客様のニーズは何か？を考えながら栽培・販売することが大変です。天恵菇は売って終わりではなく、買った人は何に使いたいのか、誰のために買ったのかを念頭に入れながら経営することを心掛けています。その分、お客様から「美味しい」「買って良かった」の感想を頂いたり、今後の改善に繋がるレビューを頂くと、とても嬉しいです。



©MIURA_TENKEIKO

●取材の感想

取材をさせていただいて、一口にしいたけといってもたくさん種類があること、天恵菇の栽培はとても難しいことなど基本的なことから、三浦さんご夫妻の天恵菇への情熱を知り、多くの学びを得ました。「天恵菇を知ってほしい」という思いから熱意と人生を懸けるその姿勢がすごく素敵で、私も将来何か一つでも、自分の人生を懸けられるものを見つけたいと思いました。今年の友人の誕生日プレゼントに天恵菇を贈ろうと思います！

（取材：四国大学 岡宗京子）

創業コーディネーター／里見和彦より

三浦代表は、大学卒業後、ウィスキーの魅力に魅せられ営業販売を行ってきたとのこと。その後、徳島県産ブランド椎茸「天恵菇」の魅力に魅せられ、約１年間生産者のもとで修行し独立を許可されたとのことです。ハウス建設に数千万円かかるなか、少しずつ資金調達や実績を作り、「天恵菇」の魅力を全国や世界に伝えている若者です。夫婦で育児をしながらの生産と販売は大変だと思いますが、三浦夫妻の愛情が詰まった「天恵菇」をぜひ食べてみてくださいね。大きさだけでなくうまみ成分のグアニル酸が３倍です。

Interview

とくしま起業人



一般社団法人
日本スパイダー協会

代表者 五島 満

住所：徳島県徳島市川内町下別宮西47-1　TEL：088-679-1757

●起業の経緯を教えてください

約10年前、国内でも先駆的に鹿児島県の太陽光発電工事に多関節型作業機械「スパイダー」が投入されました。現場は丘陵地における杭打ち作業で、スパイダーの活用で生産性は向上しますが、その反面、操縦などには相当の技能を要しました。この1年半にわたる難工事をこなして、無事完成にこぎ着けた経験や技能を世間に知らしめたい。この思いを胸に、自社（成島建設）導入にこぎ着けたのが約3年前でした。そして、スパイダーの普及活動を広く展開するため、令和7年4月1日「一般社団法人日本スパイダー協会」を発足させました。

●御社の主な事業内容を教えてください

当協会は、次の4つの取り組みを進めています。

①スパイダーの特徴を周知しながら、国内での普及に向けた啓発活動を促進
②スパイダーの活用策などを調査・研究し、現場での活用はもとより、災害復旧等への活用を促す
③スパイダーの操縦訓練と見学会や講演会などを通じた教育・人材育成
④外部機関や関係機関との交流活動

●起業して大変だったことは何でしょうか？

まず、平時の活用先である「建設」「土木」「林業」関係においても、スパイダーを知っている人が極端に少ないことがあります。まだ、国内で20台しか普及していないことから、実際に見たと言う人も限定的です。こうした中で、どういう手法で周知を図るのか？この課題を解決すべく色々と試行錯誤の状態が続きました。そうした中、国土交通省国土政策総合研究所（つくば市）がDX先進機械としてのスパイダーの社会実装化と公共事業等への導入に向けた動きを加速させました。当協会もこの動きに同調し、国土交通省地方整備局などで実演会・見学会を実施し、国の機関はもとより、警察・消防・自衛隊などへの周知が進みました。

●起業して良かったことは何でしょうか？

昨年5月、世界初の教習訓練機関として当協会が認定され、昨年1年間で15名が技能を取得しスパイダーの操縦ができるようになりました。また、奥能登（石川県）の災害復旧現場にスパイダーが投入され、従来の建設機械では作業が困難な急斜面等での作業を、スパイダーを用いて工事をしました。これにより、大規模な道路崩壊や倒木の処理などに対して、1台で複数の機能を発揮するスパイダーの特徴を活用した災害時の活用が周知され、本年3月には、国土交通省北陸地方整備局と災害協定を締結したところです。さらに、4月には、地元美波町と防災教育に関する協定も締結しました。こうして、運転できる体制の整備や平時・緊急時への導入に向けた動きが大きなものになってきていることです。

●起業を目指す方にメッセージをお願いします

ことを起こすとき、現状をみるとまだ早いのではと頭を抱えるか、一歩でも踏み出すか？皆さんは、次の状況をみてどう思われますか？

〈現　状〉国内での油圧ショベルは45.5万台（令和5年建設機械動向調査）が普及しているが、それに対して、スパイダーは20台しか普及していない。一歩を踏み込んでも、課題の多さを考えると再度あたまを抱えます。

〈課　題〉スパイダーがどうして普及しないのかを分析すれば、ざっくりと大きく3つに分けられます。①導入経費　②操作技術　③その他諸々

「思い」を「形」にするには、多くの人を巻き込む「エネルギー」が必要です。幸いにして、当協会も多くの関係者の「支援」を「力」に変えて進みつつあります。良いものを社会に浸透させることを胸に、これからも普及活動などに力を注いで参ります。



創業コーディネーター／長尾辰彦より

スパイダーが実際に動いているのを見せていただいたとき、その他の建設機械と全く違うダイナミックな動きに驚きました。4つのタイヤが独自に動き、上下の動きも自在でした。難所工事も得意というスパイダーが、山間や被災地で活躍する姿として意識できた瞬間でした。その普及を図る、日本スパイダー協会の活動は、日本の建設機械の常識を変えていくものと期待しています。

事業紹介

創業の夢を形に！

あったかビジネス支援事業

創業5年以内の優れた事業計画を知事が認定します！

随時申請受付中

概要

「あったかビジネス支援事業」は、特産品や文化等の徳島県特有の資源や、個人のユニークな能力・経験等を活かした優れた創業計画を「あったかビジネス」として規模や業種にかかわらず広く計画認定し、地域に根差した創業を県や関係機関が支援する事業です。
起業を目指す方、第二創業で再チャレンジを目指す方は、ぜひご検討ください。

まずは

STEP 1 創業コーディネーターに相談
STEP 2 事業計画の作成
STEP 3 計画申請（窓口 とくしま産業振興機構）
STEP 4 認定審査
STEP 5 計画認定（申請結果を受けて知事が認定！）
STEP 6 認定事業へ支援

お問い合せ

公益財団法人 **とくしま産業振興機構**
月～金　9：00 ～ 17：45（土日祝休）
徳島市南末広町5番8-8　徳島経済産業会館2F
TEL 088-654-0103
FAX 088-653-7910
E-mail kigyou@our-think.or.jp
URL https://www.our-think.or.jp/

＼詳しくはコチラ／

創業者支援施策

あったかビジネス支援事業等における支援の詳細

あったかビジネス認定事業者優遇措置

事業名	内容	申込・問い合せ先	申込期間	備考
創業者無担保資金 あったかビジネス支援枠 あったかビジネス支援枠：女性創業者	運転・設備資金として3,500万円以内で融資します。 ※あったかビジネス事業計画認定事業者は、通常より有利な融資利率、保証料率で借入ができます。	徳島県信用保証協会 088-622-0217	随　時	・融資利率 年1.95%以内　・保証料率 年0.1%以内 ・融資利率 年1.55%以内　・保証料率 年0%以内
ふるさと起業家支援補助金	知事の認定を受けた事業を対象にクラウドファンディングで寄付を募り、集まった資金に県が追加支援を行った金額を補助します。（最大1,000万）	徳島県産業成長推進課 088-621-2369	4月～5月頃	・補助事業期間 8月～3月頃
あったかビジネス大賞	県民参加型のコンペを実施し優れた取組を行う企業を表彰します。 また、参加企業をHP等でPRします。	（公財）とくしま産業振興機構 088-654-0103	要問い合せ	
とくしまインキュベーター事業	（株）徳島健康科学総合センターの小規模オフィスを起業家用貸室として最長5年間優遇価格で使用できます。（価格は税抜） ・12.7㎡：月額 19,000円　・17.9㎡：月額 26,800円　・40.0㎡：月額 36,000円 ※参考一般価格　40.0㎡：月額120,000円	（公財）とくしま産業振興機構 088-654-0103	随　時	あったかビジネス事業計画認定事業者が対象です。
とくしま創業促進費補助金	公募及び審査会を経て、県内で社会的課題解決のために、新たに創業等する者に対し、必要な経費の一部を補助します。（補助上限最大200万円、補助率1/2）	（公財）とくしま産業振興機構 088-654-0103	4月～5月頃 8月～9月頃	
知的財産（特許・実用新案・意匠・商標等）の取得・活用支援	・窓口担当者が、製品・サービス・名称等の知的財産による保護・活用について支援します。 ・知財専門家（弁理士・弁護士・中小企業診断士・デザイナー・ブランド専門家等）を無料で派遣・支援します。	INPIT 徳島県知財総合支援窓口 088-669-0158	随　時	

事業計画書の記載事項

1. 事業の内容
2. 今後3年間の事業計画
3. 資金調達および運用計画
4. 収支計画および借入金返済計画など

計画認定の要件

1. 経営者等の独自の技能や知識、能力、経験等を生かした事業であること
2. 県内で新たに開始する事業、または開始後5年以内の事業であること
3. 事業による付加価値が一定以上見込めること
4. 環境に優しく、地域社会に調和していること
5. 他の県民（1人以上）からの推薦があること
6. 明瞭かつ適切な事業計画のもと行われる事業

創業に関する相談窓口

まずは
（公財）とくしま産業振興機構 経営支援部
088-654-0103

- 徳島県産業成長推進課 088-621-2147
- 徳島ニュービジネス協議会 088-654-5411
- 徳島県信用保証協会 創業推進課 088-622-0254
- 徳島商工会議所 088-653-3211
- 徳島県商工会連合会 経営支援課 088-623-2014
- 徳島県中小企業団体中央会 連携推進部 088-654-4431

その他、市町村においても支援制度を設けている場合がありますので、所在市町村へご確認ください。

あったかビジネス事業計画に係る認定事業者一覧

令和７年７月以降に新たに「創業促進・あったかビジネス認定事業」の認定を受けた事業者をご紹介します。

認定日	認定	企業・創業者名	代表者	業種	事業計画概要
R7.7.10	559	**合同会社縁**	岡本 美幸	社会福祉事業	板野郡エリアを中心とした、特定計画相談支援の相談と障がい児計画支援の相談ができる相談支援事業所よりどころの開設と干し芋加工品の製造販売
R7.7.10	560	**株式会社KAZオートワークス**	山岸 一雄	自動車小売業	店舗や防災に活用できるトレーラーハウスの提供とユーザー車検&カーコーティングの事業
R7.7.10	561	**CRMCS.groove**	吉田 圭吾	陶磁器・ガラス器小売業	半磁器を活用した美しい色合いの半磁器陶器と調味料の製造販売
R7.7.10	562	**Eye's Design**	志宇知 陽太	デザイン業	飲食店をメインに、HP/LP の制作を定額・低額で提供する事業
R7.7.10	563	**海鮮丼専門店～米と魚と、**	丹生 拓也	食堂・レストラン	大工町で新鮮な海鮮と牛肉にこだわった「海鮮丼専門店～米と魚と、」の開業
R7.7.10	564	**株式会社大津**	松本 直樹	訪問介護事業	徳島北部エリアを対象に、要支援認定・要介護認定を受けた方へ訪問介護事業の開業
R7.7.10	565	**株式会社 FemiCross**	松坂 智美	専門サービス業	女性の生きづらさの解消を目的としたコーチングとカウンセリング事業
R7.7.10	566	**シミケア専門サロン Sui.**	大坂 麻由佳	エステティック業	藍住町でシミのケア専門となる、シミケア専門サロン Sui. の開業
R7.8.12	567	**タケアツふぉと**	武本 淳美	技術サービス業（他に分類されないもの）	徳島を拠点に「世界のヒトから愛される写真を撮る」事務所の開業
R7.9.26	568	**株式会社阿部商運**	阿部 瑞紀	一般貨物自動車運送業	前職の運送会社と連携し冷凍食品の定期運行「スイッチ輸送」「モーダルシフト」の枠組みの一翼を担う運送業の開業
R7.9.26	569	**いなば動物病院**	小林 佑記	獣医業	国府町で、犬・猫の「腫瘍」「眼」に強みがある動物病院の開院
R7.9.26	570	**body care salon YEE**	三浦 和代	整体・リラクゼーション	板野町のテナントを改装し、女性専門の心と体を整える場をオープン
R7.9.26	571	**Masta Base Lab**	三浦 広典	ダンススタジオ	ダンスから無限の可能性を広げるダンススクールとレンタルスタジオの開業
R7.9.26	572	**Awasso GREENS**	佐藤 賢正	造園工事業	日本では初のゴルフ PGA ツアープロが認める人工芝のグリーン CELEBRITY GREENS の施工と営業
R7.9.26	573	**一般社団法人美波御塩**	大地 幸代	塩製造業	美波町の海水と薪と平釜を用いた地域循環型の塩づくり事業を行う美波御塩
R7.9.26	574	**み匠**	大久保 美珠	持ち帰り飲食サービス業	防災のフェーズフリーに対応した、いもフライ専門のキッチンカーみ匠の開業
R7.9.26	575	**合同会社 two－piece**	笹川 昂朗	訪問看護・看護業	北島町で呼吸器やリハビリの強みを活かした訪問看護サービスを開業
R7.9.26	576	**ねこいろ**	市原 ふみ	獣医業	石井町で猫を専門に預かり、健康診断や予防・治療ができるペットホテルの開業
R7.9.26	577	**Café&Dining LaLa coffee**	福山 麻実	飲食店	三軒屋町にて自家焙煎の珈琲と手作りの食事・スイーツを提供するカフェの開業
R7.9.26	578	**未来郷祖谷**	石川 真	宿泊業	祖谷の未来を紡ぐ持続可能な宿泊・地域活性事業～「わんく民泊いやしろちシリーズ」による自然と暮らしの継承～
R7.12.24	579	**焼肉ほるもん　大門**	山内 翔	焼肉店	石井町で特選たんなど良いお肉を安く提供できる焼肉ほるもんの開業
R7.12.24	580	**いめーじ基地局**	西原 透	建築リフォーム業	鴨島町で DIY ワークスペースの提供と大工業務の一人親方事業を行ういめーじ基地局の開業
R7.12.24	581	**OKAKA**	西岡 祐也	飲食店	「若者や社会とのつながりを探す方、多様な背景を持つ方々が、自分らしく過ごせるチャレンジ応援カフェ」
R7.12.24	582	**株式会社グランドスラム**	森下 光城	障がい者福祉事業	応神町でワンルーム型の共同生活援助の障がい者グループホームを開業
R7.12.24	583	**合同会社 JProduct**	赤堀 潤也	情報通信業	0 歳から 5 歳までの離乳食・幼児食レシピ共有サービス「こどもレシピ」の運営
R7.12.24	584	**合同会社 meridies**	南 恵理子	老人福祉・介護事業	藍住町で居宅介護支援事業・介護予防支援事業とコンサルティング事業
R7.12.24	585	**pura vida**	関本 美奈	美容業	「美容師経験 38 年のベテランが運営するアットホームな美容室 pura vida」
R7.12.24	586	**合同会社 With**	佐藤 瑞希	児童福祉事業	徳島市で重症心身障害児・医療的ケア児が対応できる多機能型児童発達支援事業所を開業
R7.12.24	587	**坂口手延製麺**	郷司 敦史	めん類製造業	昔ながらの製法で素麺を作る坂口手延製麺の事業承継
R7.12.24	588	**吉本日本刀鍛錬道場**	吉本 隆	刃物製造業	佐那河内村で日本文化の伝承となる本格的な日本刀の刀鍛冶
R7.12.24	589	**合同会社 your place**	髙橋 ひさみ	児童福祉業	石井町でモンテッソーリ教育を取り入れた児童発達支援事業のゆあぷれの開業
R7.12.24	590	**pet salon tream**	原田 美穂	ペット美容業	藍住町でワンちゃんのトリミングサロンを開業
R7.12.24	591	**株式会社古川**	古川 尋海	訪問看護	「終末期において自宅で看取りを行う家族と患者のためにサービスを提供する訪問看護ステーションいこい」
R7.12.24	592	**Hair & Relax iro to iro**	中峯 育誉	美容業	藍住町で新築コンテナ６棟が並ぶ場所での美容室 / エステの開業
R7.12.24	593	**機能回復支援 SPINs**	舩越 稔	老人福祉・介護事業	自分らしい生活を取り戻すための保険外リハビリサービスの展開で、「自立支援の促進」と「介護給付費の適正化」に貢献
R7.12.24	594	**多田歯科・矯正歯科**	多田 陽祐	歯科診療所	藍住町で父親の顧客を引き継ぎながら新しく矯正治療・小児治療に注力した、多田歯科・矯正歯科の開業
R8.3.24	595	**ニクタマ食堂**	森岡 凜	飲食店	藍住町で夫婦で運営するニクタマ食堂の開業
R8.3.24	596	**OC スポーツ**	林 涼平	スポーツ教室	子どもの成長機会と地域の繋がりを再生する総合型地域スポーツクラブ事業の開業
R8.3.24	597	**Comeco to Pan**	苅谷 充代	パン小売業（製造小売）	小松島で小麦アレルギーの方や健康志向の方へ米粉 100% 使用のパンとお菓子を提供するグルテンフリーのパン屋
R8.3.24	598	**うつみトラベル&ハウジング株式会社**	内海 秀一	旅行業及び不動産代理業・仲介業	旅行という非日常の世界から、不動産という日常の生活まで、付加価値を高めてリピーターを獲得！
R8.3.24	599	**ネウシサルイ**	那須 翔	パン菓子製造業	国産小麦 100% にこだわり、天然酵母や地元食材を活かした小麦や食材の持つ味・香りを安全・安心して楽しめる焼きたて手作りパンのお店
R8.3.24	600	**合同会社ファーストステップ**	秋田 純	障がい者福祉事業	児童福祉法に基づく、児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問「ペンギン」の開業
R8.3.24	601	**韓国美容 YOLO**	林 裕起	エステティック業	南矢三で肌質改善専門のエステサロンと美容機器の販売の開業
R8.3.24	602	**江尻山工房**	小川 健三	家具・装備品製造業	鳴門町でフラッシュ構造の別注家具・木工雑貨の製造工場を設立し開業
R8.3.24	603	**株式会社 SUGAR FIX**	鳩谷 泰啓	菓子製造小売業	洋菓子店のない池田町でパール洋菓子店を開業し、レモンケーキを全国へ販売
R8.3.24	604	**合同会社といぷーの手**	岩佐 拓	その他障がい者福祉事業	藍住町で訪問介護事業と行動援護事業を行うケアサービスの開業
R8.3.24	605	**Merry Life**	吉村 史織	リフォーム・ペットシッター	人とペットが安心・快適に共生できる住宅づくりと、ペットシッター事業の開業
R8.3.24	606	**OVER ALL**	猪兒 頼汰	食堂・レストラン	両国橋でお昼はランチ・夜は Bar の営業をする飲食店の開業
R8.3.24	607	**株式会社白鷺屋**	増田 善紀	食品製造業	本格志向の奈良漬の製造販売を軸に地産地消や６次産業化を進める（株）白鷺屋
R8.3.24	608	**一般社団法人日本スパイダー協会**	五島 満	その他の教育・学習支援業	世界初スパイダー運転技能講座の開設と機械の利活用促進

社会保険労務士
から
一言

フリーランスと事業者の健全な取引を守るために



特定社会保険労務士　**前野　好美**

2024 年 11 月 1 日、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」、いわゆる「フリーランス法」が施行されました。 この法律は、フリーランスが安心して働ける環境を整備するために、取引の適正化と就業環境の整備を事業者に求めるものです。
ここでは、発注事業者が押さえておくべきポイントを整理し、新しい働き方に対応するための実務上の留意点を解説します。

1.「フリーランス（特定受託事業者）」とは何か？

フリーランス法における「フリーランス」とは、業務委託の相手方である事業者であって、次のいずれかに該当するものを指します。
①個人であって従業員を使用しないもの
②法人であって、代表者以外に他の役員がおらず、かつ、従業員を使用しないもの
として定義されています。ここでいう「従業員を使用」とは、週所定 20 時間以上かつ継続して 31 日以上の雇用が見込まれる労働者を雇用することです。

労働基準法などの「労働法」が適用されない「フリーランス」を守るため、これまでの中小受託取引適正化法（取適法）などの網にかからなかった小さな取引まで幅広くカバーする点が、実務上の大きなインパクトとなっています。

2. 発注者「特定業務委託事業者」および「業務委託事業者」の定義

「特定業務委託事業者」とは、フリーランスに業務委託する事業者であって、次のいずれかに該当するもの
①個人であって、従業員を使用するもの
②法人であって、２人以上の役員がいる、または、従業員を使用するもの
「業務委託事業者」とは、フリーランスに業務委託するすべての事業者と定義されています。

本法は、発注者側の「従業員の有無」や「契約期間の長さ」によって、「取引の適正化」と「就業環境の整備」についての義務が段階的に増えていく仕組みになっています。

3. 求められる「取引の適正化」の具体的内容

①取引条件の明示（対象：全ての業務委託事業者）
フリーランスに業務委託をした場合は、直ちに書面またはメール等で以下の８項目を明示しなければなりません。

1）業務委託事業者・フリーランスの名称
2）業務委託をした日
3）フリーランスの給付の明確な内容（品目、品種、数量、規格、仕様等）
4）給付の提供を受ける期日
5）給付の提供を受ける場所
6）給付内容を検査する場合は検査を完了する期日
7）報酬の額および支払期日
8）現金以外の方法で報酬を支払う場合は、支払方法

②報酬支払期日の設定（対象:特定業務委託事業者）
　給付を受領した日から起算して 60 日以内の、できる限り短い期間内で支払期日を定め、支払わなければなりません。
③ 7 つの禁止行為（対象：特定業務委託事業者で、1 か月以上の業務委託の場合）
　フリーランス側に落ち度がないにもかかわらず、以下のような行為を行うことは禁止されています。

禁止行為	具体的な内容
受領拒否	成果物の受け取りを拒む行為。
報酬の減額	事後的に、決まっていた金額を減らす行為。
返品	正当な理由なく送り返す行為。
買いたたき	相場に比べて著しく低い報酬を、一方的に押し付ける行為。
購入・利用強制	自社の商品やサービスを無理やり買わせる行為。
不当な経済上の利益の提供要請	無料での追加作業や、協賛金の支払いを求める行為。
不当な給付のやり直し	当初の発注にない修正を、何度も無償でやらせる行為。

4. 求められる「就業環境の整備」の具体的内容

①募集情報の的確な表示義務（対象：特定業務委託事業者）
　広告等により募集情報を提供するときは、その情報について、虚偽の表示または誤解を生じる表示をしてはならず、正確かつ最新の内容に保つ必要があります。
②ハラスメント対策に係る体制整備義務（対象：特定業務委託者）
　明確な方針の策定・周知、相談窓口など体制の整備、迅速適切な対応が求められます。
③育児介護等と業務の両立に対する配慮義務（対象：特定業務委託事業者で 6 か月以上の契約）
　申し出があった場合に、原則として、育児や介護と業務を両立できるよう、必要な配慮（オンライン打ち合わせへの変更や納期の調整など）をしなければなりません。
④中途解約等の事前予告・理由開示義務（対象：特定業務委託事業者で 6 か月以上の契約）
　長期契約を解除する場合や更新しない場合は、少なくとも 30 日前までに予告する必要があります。理由を求められた場合は、開示義務が生じます。

5. まとめ

　フリーランス人口の増加に伴い、取引先とのトラブルの増加を背景として、「フリーランス法」が施行され、業務委託における取引条件や報酬支払のルールが明確化されました。
　発注事業者には、業務委託契約書の作成や取引条件の明示、報酬支払期日の設定など、さまざまな義務が課されており、適正な業務委託の仕組みへ見直す必要があります。運用の見直しや具体的な対応で迷われた際は、徳島働き方改革推進支援センターまでお気軽にご相談ください。



徳島働き方改革推進支援センター

〒 770-0865
徳島市南末広町 5 番 8-8 号
徳島経済産業会館 2 階徳島県社会保険労務士会内
電 話 番 号：0120-967-951
相談受付日：月曜～金曜
　　午前 9 時から午後 5 時まで
　　（※祝日を除く）

徳島県 よろず支援拠点

経営力再構築伴走支援から考える自己変革力
～技術的問題と適応課題の視点から～



浦土井健二　徳島県よろず支援拠点　コーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、（公財）とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

はじめに

令和４年４月に徳島県よろず支援拠点のコーディネーターに就任してから、早いもので５年目を迎えました。就任当初は新型コロナウイルス感染症の影響に関する相談が多く寄せられ、日々対応に追われていたことが今では懐かしく感じられます。

これまで多くの事業者の皆様からご相談をいただき、その一つひとつに向き合う中で、私自身も支援の幅を広げることができました。しかし、相談対応を終えた後には、「相談者が本当に相談したかったことは何だったのか」「問題の本質はどこにあったのか」と考え続けることが少なくありません。

経営支援の現場では、同じ相談内容に見えても背景や事情は事業者ごとに異なります。そのため、知識やノウハウを提供するだけでなく、経営者の思いや状況を理解しながら対話を重ねることが重要です。相談対応する量が増えるごとに、その難しさを実感しています。

そんな私が定期的に読み返している資料の一つが「経営力再構築伴走支援ガイドライン」です。今回は、このガイドラインを通じて学んだ「自己変革力」について考えてみたいと思います。

1. 私が注目した「経営力再構築伴走支援ガイドライン」

国から公開される数多くの資料の中でも、このガイドラインが印象的だったのは、経営改善の手法ではなく、経営者との向き合い方に焦点を当てている点です。私たち支援者は専門知識や経験を活かして課題解決を支援します。しかし、実際に行動し、変化を実現するのは経営者自身です。そのため、支援者が一方的に答えを示すだけでは、本当の意味での経営改善にはつながりません。ガイドラインでは、経営力再構築伴走支援モデルを『経営者等との「対話と傾聴」を通じて、事業者の「本質的課題」に対する経営者の「気づき・腹落ち」を促すことにより「内発的動機づけ」を行い、事業者の「能動的行動・潜在力」を引き出し、事業者の「自己変革・自走化」を目指す支援方法』（経営力再構築伴走支援ガイドライン P13）と位置づけています。

この考え方に触れたとき、日頃感じていた支援の難しさの理由が少し見えた気がしました。相談者が求めているのは正解だけではありません。自分の考えを整理したい、頭の中にある思いを言葉にしたい、分かっていても取り組めない問題に苦しんでいる場合もあります。だからこそ支援者には、知識だけでなく、相手の話に耳を傾け、ともに考える姿勢が求められるのだと思います。



出典：『「経営力再構築伴走支援ガイドライン」を策定しました』、中小企業庁 HP（令和５年６月 22 日）、閲覧：令和８年６月５日
https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/keiei_bansou/guideline.html

2. 経営課題には二つの種類がある

ガイドラインを読み進める中で、特に興味を惹かれたのが「技術的問題」と「適応課題」という考え方です。技術的問題とは、専門知識やノウハウによって解決できる問題です。例えば計画書の書き方、補助金活用、税務・法務などが該当します。これらは専門家が解決策を示しやすい領域です。一方、適応課題は経営者や組織自身が考え方や行動を変えることでしか解決できない問題です。例えば、

・組織や人事など人の感情が関わること
・新しい事業に挑戦できない
・従来のやり方を変えられない

といった課題です。

出典：中小企業庁　経営力再構築伴走支援ガイドライン P8

	技術的問題	適応課題
問題の定義	問題の定義が明確（何が問題かが分かっている）	問題の定義がはっきりしない（問題の発見に学習が必要）
解決策の特定	解決策が分かっている	適応が必要な課題で解決策が分かっていない
解決策の有無	既存の知識で実行可能	**既存の解決策がない**（既存の思考様式では解決できない）
解決手法	知識や技術を適切に使うことによって解決できる	既存の思考様式を変えて、行動を変える必要がある
作業の中心	高度な専門知識や技術を持った人（権威を持つ人）によって解決できる	関連する人々との探求と学習が必要
問題の在処	問題は自分の外側にある	問題の一部であり**当事者**（本人の思考様式や行動も影響）

（南山大学 中村和彦教授 作成資料を一部加工）

私自身、「売上を増やしたい」という相談に対して、販路開拓を提案しても前に進まない経験を何度もしてきました。話を深掘りすると、新たな挑戦への不安や変化への抵抗感が背景にあることがあります。

このように、表面的な課題の奥には適応課題が隠れていることが少なくありません。そしてガイドラインが重視しているのも、この適応課題への向き合い方なのです。

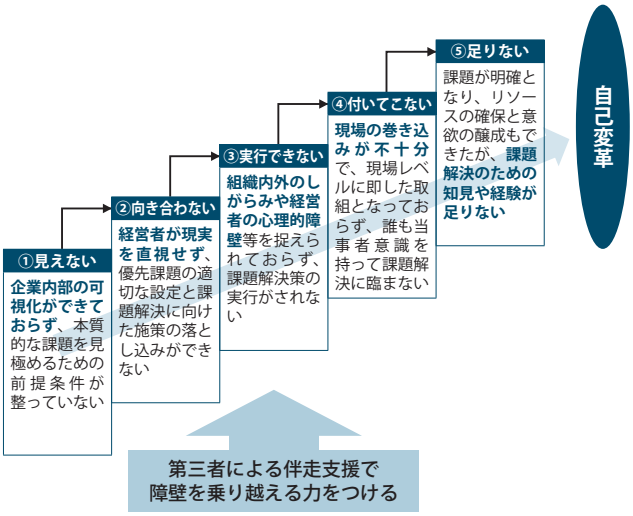
3. 本当に難しいのは適応課題である

適応課題が難しいのは、正解が存在しないからです。例えば人材不足の相談でも、採用方法は技術的問題として対応できます。しかし「社員が育たない」という悩みの背景には、経営者自身が仕事を抱え込み、任せることができないという課題が潜んでいることがあります。このような課題は、支援者が答えを示しても解決できません。経営者自身が現状を見つめ、自ら行動を変えていく必要があります。

そこで重要になるのが「自己変革力」です。

自己変革力とは、環境の変化や新たな課題に直面した際に、自らの考え方や行動を見直し、変化に適応していく力です。人口減少、人手不足、物価高騰、デジタル化など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しています。過去の成功体験だけでは乗り越えられない場面も増えています。ガイドラインでは、自己変革を妨げる５つの壁として、①見えない、②向き合わない、③実行できない、④付いてこない、⑤足りない、と説明しています。これらの障壁を支援者と一緒に乗り越えていくことを目指しています。

出典：中小企業庁　経営力再構築伴走支援ガイドライン P14



4. 支援者にも自己変革が求められている

伴走支援の本質は、答えを与えることではなく、経営者が自ら答えを見つけるプロセスを支えることにあります。そのために必要なのは、「腹落ち（納得）」であるとガイドラインでは示しています。具体的な内容・支援方法は、紙幅の都合上ガイドラインを確認願います。

私はガイドラインを何度も読み返しながら、支援方法の軌道修正を試みています。理解を深めるほど大変難しい支援方法であるとも感じます。私が今でも相談後に悶々とした時間を過ごしているのは、より良い答えを探すためだけではなく、相談者にとって「より良い対話ができたか？」を振り返っているのだと思います。考えてみれば、自己変革力が求められているのは経営者だけではありません。支援者もまた、相談者との対話を通じて学び、自らの支援の在り方を見直し、環境の変化に適応していくことが必要なのだとガイドラインを通じて感じることができました。

おわりに

経営支援の現場では、技術的問題だけでなく、その奥にある適応課題に向き合うことが求められます。そして、その課題を乗り越える原動力となるのが自己変革力です。経営力再構築伴走支援ガイドラインは、支援者が答えを与える存在ではなく、経営者の気づきや行動変容を支える存在であることを教えてくれます。企業の変革は、経営者の自己変革から始まります。そして、その歩みに寄り添い、ともに考え、ともに成長していくことこそが伴走支援の目指す姿だと言うことができます。このガイドラインは、就任してから５年目の私にも、まだまだ伸び代がたくさんあることを教えてくれています。

今回ご紹介したガイドラインは、公表されてから数年が経過しており、ご存じの方も多いかと思います。その中で、一度読み返していただくと、経営支援に携わる方々にとっても、経営者の皆様にとっても、自らの在り方を見つめ直すきっかけとなるのでないかと思います。読んだことが無い方は是非一度、読んだことがある方は読み返していただくことを期待して結びと致します。

著者略歴：**浦土井健二**（うらどい・けんじ）
得意分野：経営計画、販路開拓、EC 活用
保有資格：中小企業診断士

よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町５番 8-8
徳島経済産業会館２階
HP https://yorozu-tokushima.go.jp/

電話 088-676-4625（よろずにゴー）

受付時間

【平日】9:00～17:45
【休日相談会】
●第1・第3土曜日　10:15～17:00　徳島市産業支援交流センター（アミコビル9F）
●隔週日曜日　10:00～17:00　徳島駅前ポッポ街

（最新情報を確認して下さい）

価格転嫁等に関する経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。

100億宣言 ダイトー工業株式会社（製造業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
石橋　哲朗

夢をかたちに「挑戦する心」で「超一流」のモノづくりを

弊社は 1976 年の創業以来、ものづくりに誇りを持ち、自動化設備の製作に 40 年以上取り組んでまいりました。自動車産業が大変革期を迎える今、生産性と品質向上のための自動化・省力化は欠かせません。私たちはロボットやカメラなど多様な技術を組み合わせ、お客様の期待を超える設備づくりを追求してきました。ものづくりは最高の仕事であり、その価値をさらに高めるため、100 億宣言を通じて、徳島から世界へ挑戦し続ける企業でありたいと考えています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、既存事業である自動組立機・検査機の設計製造を成長基盤とし、自動車産業における内燃機関・EV・ハイブリッドなどすべてのパワートレイン分野に対応する自動化設備メーカーとして事業拡大を図ります。ロボットや画像検査技術を活用した高付加価値設備の開発と生産能力の拡大により、10年間平均25%の成長を実現し、売上高100億円企業への飛躍を目指します。

課題

売上高100億円規模への成長に向けては、生産能力の拡大、高度化する自動化設備への技術対応、人材確保と育成が重要な課題となります。自動車産業の電動化や製造現場の自動化が進む中、弊社は成長機会を捉えるべく、ベトナムへ進出し、生産体制の強化に取り組んできました。一方で、今後はより高度な自動化設備や大型案件への対応が求められるなか、国内外を含めた開発力・生産体制のさらなる強化が不可欠であると強く認識しています。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円の実現に向けて、以下の成長施策を推進します。

- ▶5 年以内の新工場建設による生産能力拡大
- ▶ロボットや画像検査技術を活用した高度自動化設備の開発
- ▶自動車産業における内燃機関・EV・ハイブリッドなど全パワートレイン分野への対応
- ▶技術領域拡大を目的とした M&A や業務提携の推進
- ▶DX 活用による設計・製造の生産性向上
- ▶人手不足の深刻化に伴い拡大する自動化・省人化ニーズを成長機会と捉え、顧客の生産性向上に貢献する設備提案を強化

実施体制

売上高100億円達成に向け、経営トップのリーダーシップのもと全社一体となって成長戦略を推進します。技術者の採用や外国人技術人材の活用、社内教育による人材育成を進めるとともに、設計・製造部門の連携強化やDX推進による生産性向上を図ります。また、新工場建設や設備投資を計画的に実施し、事業拡大に対応できる組織体制と生産体制を構築していきます。人手不足の深刻化に伴う自動化ニーズの拡大に対応するため、設計・開発・営業が一体となった提案体制を強化し、顧客の生産性向上に直結するソリューション提供体制を構築します。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高 100 億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

DAITO

本社所在地	徳島県板野郡板野町
事業概要	自動組立機・検査機の設計・製作
常時使用する従業員	48名（2026年2月時点）
現在の売上高	11億円（2025年5月期）
法人番号	6480001000961
Web	https://daito-ind.co.jp/



とくしま経済飛躍
ファンド活用事例

徳島魚市場株式会社

代表取締役／吉本 創一 氏
住所／徳島県徳島市北沖洲 4 丁目 1-38
TEL ／ 088-628-2555
FAX ／ 088-628-2511
HP ／ https://tokushima-uoichi.co.jp/

▲HP

Q1 御社と「すだちさば」について教えてください

名称【徳島県産新ブランド養殖魚「すだちさば」の商品化のための配合飼料開発事業】



徳島魚市場は、全国に 64 カ所設置されている中央卸売市場のひとつである徳島市中央卸売市場内で営業している水産物卸売業者 54 社の内の 1 社です。徳島をはじめ全国の天然魚・養殖魚を集荷しています。県内をはじめ、県外の市場取引、全国各地の量販店、回転寿司、ホテルへの販売、海外輸出事業などを積極的に行っています。

「すだちさば」は好評をいただいている「すだちぶり」に続く兄弟ブランドとして 2022 年から養殖をスタートしました。すだちの果皮を添加したサバ用オリジナル配合飼料を採用して生産者が丹精込めて育てています。もともとのきっかけは香川県の瀬戸内で定置網にサバが群れで入ったことでした。現地でサバを捕った人たちが行き先をどうしようかと思案されていましたが、弊社と取引のある鳴門市の北灘漁協で養殖をしようということになりました。低水温になる 2 月～ 4 月は北灘で養殖をしている魚がいませんでした。サバは低水温の 10 度以下でも育つため、魚のいない時期にちょうど良かったのです。生産から流通、販売までをすべて徳島魚市場グループで扱えるのも強みです。臭みを抑えることができ、脂がのっていますが、ほどよくあっさりしています。サバは生ではアニサキスがいる可能性があるため一般的には生食をしない魚です。それでも、サバの刺身は食べるとうなるくらい美味しいため、是非とも安心安全に食べていただきたいという想いがあります。アニサキスの発生が少ない瀬戸内海で育ったサバですが、全てがアニサキスフリーではないため、マイナス 20℃以下で 24 時間以上冷凍することでアニサキスを死滅させます。冷凍するときは瞬間急速冷凍を行い、解凍時は氷水にいれて温度を低く保ちながら溶かすことで、鮮度感はそのままでコリコリした食感と旨味を残せます。

Q2 開発事業について教えてください

「すだちさば」専用のオリジナル配合飼料を中部飼料株式会社と共同開発しました。「すだちぶり」から魚種変更に伴い配合を見直しました。サンプル飼料を作りエサを与えて、「すだちさば」を成魚まで育てました。ビタミン E の数値を上げることにポイントを置き、配合率について協議を重ね、成長過程では分析センターでビタミン E の含有量を測定しました。新開発飼料の効果を測るため、通常のサバと新開発飼料で養殖したサバの身質なども分析し、改良を重ねました。すだちには抗酸化作用があることから、オリジナル配合飼料を与えた「すだちさば」は色変わりが遅く、抗酸化作用のあるビタミン E も一般サバと比べて 7 倍もあることが飼料会社の調査で分かりました。また新開発飼料を与えるとドリップが少なくなるという結果もでました。

Q3 ファンドを活用しての感想や、良かった事、今後について教えてください

納得のいく飼料開発ができ、美味しい「すだちさば」の本格的な販売に舵を切ることができました。弊社グループの旭物産では、別事業として「すだちさば」の販路開拓事業にファンド支援を受けられたことから、関西の回転寿司のチェーン店などに販路を広げることができました。台湾や香港にも出荷することができました。販促に必要な物品の用意ができたこともありがたかったです。今後はクオリティと知名度をさらに上げていくように努力し、お客様を増やしていきたいです。



とくしま経済飛躍ファンド事業では、県内事業者の新商品開発・展示会出展を支援しています。当事業についての詳細は、こちらの連絡先までお問い合わせください。

TEL. 088-654-0102

〈機構ウェブサイト ▼〉
https://www.our-think.or.jp/305385/







賛助会員紹介

INTRODUCING
SUPPORTING
MEMBERS

当機構の賛助会員企業をご紹介します。
事業コラボや提携等、ぜひお考えください。
また、賛助会員は年1回事業に関する広報を
当誌に同封できます。
活用したい方は当機構にご連絡ください。

阿波スピンドル株式会社

会社概要

当社は世界の繊維産業と共に発展し、繊維・産業資材用繊維向けスピンドル製造、紡糸用エアノズル製造等、繊維機械向け部品の製造販売を行っています。国内及び海外の繊維機械メーカーにも広く利用され、これまで培ってきた技術を用いて、工作機械用部品、医療関連部品、傷検査装置の製造を行い販路を拡大しています。





会社の商品の特徴や強み

高周波焼入れ技術、研削技術、バランス修正、穴あけ技術の4つのコア技術を保有している事が大きな強みです。高速で安定した回転を得られるスピンドル製造技術を、他分野においても使用できる製品の開発を継続して行います。

今後の展開

これまで培ってきたノウハウやコア技術を24時間自動稼働の生産態勢に導入し、稼働率・製品精度・品質をさらに向上させるため2023年より二棟の工場をリニューアル。生産機械データの集約・可視化、生産・検査工程におけるAI活用により「スマートファクトリー」の実現を目指します。

連絡先

代　表　者：代表取締役社長　松浦 義春
住　　所：徳島県吉野川市山川町天神80番地
電　　話：0883-42-4121
ホームページ：https://www.awa-spindle.com

ニタコンサルタント株式会社

会社概要

弊社は1954年創業、徳島市に本社を構える総合コンサルタントです。地質調査や測量、設計、環境調査、防災、情報分野まで幅広い事業を展開し、官公庁や民間企業から高い信頼と評価を得ています。安心・安全な地域社会の実現を目指し、70年以上にわたり実績とノウハウを積み重ね、技術サービスを提供し続けています。





会社の商品の特徴や強み

創業以来の地質調査を基盤としつつ、設計・環境・まちづくり、ICTサービスまで多角的に展開。各分野の専門家が連携し、分野横断型のシナジーを生み出す体制を構築しています。また、ため池氾濫解析ソフト「SIPOND」をはじめ、先進的なICT技術や防災ソリューションを開発するなど、高度かつ柔軟な総合力が強みです。

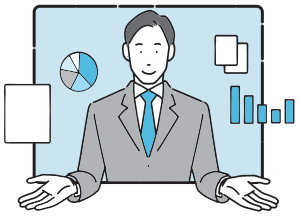
今後の展開

創立70周年を越え、祖業を大切にしつつも新たな挑戦を続けます。ICTやAI、IoTといった最新技術の活用や、国際協力による東南アジアへの技術展開も積極的に推進。国内外の災害リスク低減や地域課題の解決に貢献するため、誠実な仕事と技術研鑽に努め、社員一人ひとりが成長し続ける企業を目指します。

連絡先

代　表　者：代表取締役社長　安藝 浩資
住　　所：徳島県徳島市川内町鈴江西38番地2
電　　話：088-665-5550
ホームページ：https://www.nita.co.jp/

令和8年度 とくしまビジネスアップ塾「AWA-BIZ」セミナー



とくしま経営塾「長久館」として実施してきた各種セミナーを、令和８年４月から「とくしまビジネスアップ塾「AWA－BIZ」」としてリニューアルしました。
これまで以上に皆様の「今知っておきたい」ビジネス知識をお届けしますので興味のあるセミナーにはぜひお問い合わせください。

セミナー名	開催日時	場　所	概　要	受講料
起業力養成講座	毎週木曜開催	徳島大学、オンライン	実業家やベンチャー起業家、銀行員、中小企業診断士といった各分野の専門家が創業に必要な基礎知識を解説します。	**2,000円**
賃上げを“負担”で終わらせない！～補助金・助成金で強い会社を作る～セミナー	7月28日（火）13:30－15:00	とくしま産業振興機構、オンライン	賃上げが求められる時代に、事業主が知っておきたい補助金・助成金の基本を解説します。二人のスペシャリスト（特定社会保険労務士と経営支援の専門家）が、制度活用の入口から、会社に合った準備の進め方まで分かりやすくお伝えします。	**無料**
魅力ある職場環境整備補助金セミナー	8月4日（火）10:00－11:00	とくしま産業振興機構、オンライン	徳島県「魅力ある職場環境整備補助金(ハード事業)」の申請期間が10月30日まで延長になりました。補助金で従業員のための職場環境を整え、働きやすく魅力ある職場づくりを目指しましょう。要件等補助金の詳細と具体的な活用事例を解説します。	**無料**
第２回 DX 推進セミナー 製造業がDXでここまで変わる。現場発の改革ストーリー	8月5日（水）14:00－15:30	とくしま産業振興機構	製造業におけるDXの先駆者として、2025年度のDXセレクションで準グランプリに認定された「株式会社ヒバラコーポレーション」の小田倉社長を講師としてお招きし、自社の取組みの説明を通じた県内製造業者へのエールをお話しいただきます。	**無料**
利益体質を作る！経営改善セミナー	8月6日（木）10:00－11:00	とくしま産業振興機構、オンライン	「難しくても帰さない、断らない、何でも相談を受ける」をモットーに、経営の現状を打開する「経営改善 板橋モデル」に基づいた支援で組織改善の伴走をするセミナーです。5回シリーズの2回目です。事業の継続に不安のある方・借入金の返済に窮している方・廃業をお考えの方、ぜひご参加ください。	**無料**
小規模事業者持続化補助金活用セミナー	8月17日（月）13:30－15:00	とくしま産業振興機構、オンライン	中小企業・小規模事業者が新たな時代の経済社会の変化に対応するため「小規模事業者持続化補助金」の申請書作成のポイント等を解説します。	**無料**
女性のキャリアアップのためのワークショップ	8月18日（火）13:30－16:30	とくしま産業振興機構 セミナー室	企業で働く女性がドイツ流・キャリアアップの実践ヒントを得て、自分もリーダーになれるという自信を持つためのワークショップです。経営者にとっても女性社員を後押しする具体的な手法を学ぶことができます。	**無料**
デジタル化・AI 導入補助金セミナー	8月20日（木）13:30－14:30	オンラインのみ	労働生産性の向上を目指したITツールやAI技術の活用を支援する補助金を導入しませんか。業務管理システム、会計・受発注・決済ソフト、PC・タブレット・レジ・券売機等のハードウェア、キャッシュレス決済、インボイス対応、AI機能を搭載したソフトウェアや分析ツールの導入、セキュリティサービスなど…組織のお助けツールに補助金で手が届きます。事業者の問題解決を支援するセミナーです。	**無料**
AIで解決!? 会社の「困った」改善講座【促進・広報編】	8月26日（水）13:30－15:00	オンラインのみ	「“伝えたつもり”で終わらせない。反応が取れる告知へ」過去のチラシ、SNS投稿、イベント告知、顧客の反応には次の発信に活かせるヒントが眠っています。AIを使って「誰に、何を、どう伝えるか」を整理し、届く言葉のつくり方を探ります。	**無料**

企業情報とくしま
7月号 No.516 令和8年7月1日
2026.7 No.516

徳島県中小企業向け融資制度「経済変動対策資金」

徳島県中小企業向け融資制度
「経済変動対策資金」

令和８年
７月３日より

昨今の中東情勢等により影響を受けた中小企業者等に対し、過去1か月間の売上高総利益率等の悪化で融資可能となり、より迅速に資金繰りを支援

1 融資対象

県内に事業所を有し、原則として1年以上継続して同一事業を営む中小企業者等であって、次の(1)から(8)のいずれかに該当し、かつ具体的な策を講じることによって中長期的な業況回復が見込まれる者



(1)為替相場の急激な変動に伴う新規受注の減少、為替差損の負担等により経営の安定に支障を生じている者
(2)依存率20%以上の親事業者の経営不振又は構造調整により、新規受注の減少を被り経営の安定に支障を生じている者
(3)経済不況等の影響により収益が悪化した者であって、資金繰りが極めて困難となり運転資金に窮迫している者
(4)別に定める倒産企業の指定基準により知事が指定した企業に50万円以上の債権を有する者
※(4)については、商工会議所(徳島、鳴門、阿南)又は徳島県商工会連合会の経営安定特別相談室の推薦を受けること
(5)原油・原材料価格の高騰又は賃金引上げ・価格転嫁の影響により、最近3か月の売上高に対する「売上原価」又は「販売費及び一般管理費」の割合が前年同期比で増加し収益が悪化している者

＜原油・原材料価格高騰等緊急対策枠＞
(6)原油・原材料価格高騰の影響若しくは、中東情勢又は米国自動車関税措置等に伴う経済変動により、直接又は間接的な影響を受けた者で、次のいずれかに該当する者
①最近1か月の売上高総利益率又は売上高営業利益率が前期比で5%以上減少している者
②最近における売上高総利益率又は売上高営業利益率が前期比で5%以上減少している者

(7)「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」又は「災害救助法」の適用を受けた災害により事業活動に支障の生じている者
(8)感染症法における「指定感染症」又は知事が特に対応が必要と認めた疾病等により、直接的又は間接的な影響を受けた者で、原則として最近1か月の売上高が前年同期比で5%以上減少し、かつ、その後2か月を含めた3か月の売上高が前年同期比で5%以上減少することが見込まれる者

2 融資金額

１企業者　５，０００万円以内
※（６）の場合　６，０００万円以内

3 融資期間

運転　10年以内　　1年以内据置
※（６）の場合　　2年以内据置

4 融資利率

融資期間	7年以内	8年以内	9年以内	10年以内
融資利率	2．25%以内	2．30%以内	2．35%以内	2．40%以内

5 保証料率

年0．30%～0．85%（財務状況等により9区分に分かれています。）
※(6)の場合　0．20%～0．75%

【融資のお申込みは、取扱金融機関へ】
阿波銀行、徳島大正銀行、四国銀行、三菱UFJ銀行、百十四銀行、伊予銀行、香川銀行、愛媛銀行、高知銀行、徳島信用金庫、阿南信用金庫、商工組合中央金庫

【お問い合わせ先】
徳島県経済産業部産業成長推進課　金融担当
住所：徳島市万代町１丁目１番地（5階）　TEL 088-621-2318　FAX 088-621-2853

お知らせ　来月号は、とくしま創業促進費補助金採択事業者をご紹介します。

発行所：公益財団法人とくしま産業振興機構 経営支援部
〒770-0865 徳島市南末広町5番8-8 徳島経済産業会館 2階
TEL.088-654-0101(代) FAX.088-653-7910 E-mail:jouhou@our-think.or.jp
印刷所／協業組合徳島印刷センター
徳島市問屋町165 TEL.088-625-0135